

# 『広島県病院事業経営計画(平成21年度～25年度)』の取組状況 に係る広島県病院経営外部評価委員会の評価報告書(案)

②【別冊 1】

平成23年3月 日  
広島県病院経営外部評価委員会  
委員長 谷田 一久

## 1 広島県病院経営外部評価委員会

広島県病院経営外部評価委員会は、「広島県病院事業経営計画(以下「経営計画」という。)」の取組状況に係る点検・評価等を行う外部組織として、平成22年5月に設置されました。

今年度3回(7月、10月、3月)実施し、経営計画の取組状況に係る評価について、次のとおり取りまとめました。

## 2 評価結果の総括

平成21年度は、広島県病院事業が平成21年3月に策定した「経営計画」の初年度であります。

平成21年4月には、患者が島内又は町内に限定された地元密着型病院となっていた瀬戸田病院と神石三和病院をそれぞれ尾道市と神石高原町に移管するとともに、地方公営企業法の全部適用に移行し、環境の変化に迅速かつ的確に対応するための病院改革が進められています。

経営計画において経営目標として掲げている、「政策医療機能を担うための医療提供体制の強化」、「人材育成・派遣機能の強化」、「患者サービスの向上と経営の効率化」を具体化した、方針ごとの取組状況は、各病院ともに着実に取組を進められていると認められます。

結果として、平成21年度は、3億9千万円余の純損失が生じていますが、平成20年度に比べると、医業収益が9億1千万円余向上するなどにより、収支は、計画を1億8千万円余上回り、平成20年度より5億7千万円余改善しており、高く評価できます。

\*\*\*\*\*

県立病院として、全県下を視野に入れた医療提供と指導性の発揮に努めていただくとともに、臨床指標や取組状況等の情報開示により医療提供体制の「可視化」を推進し、県民から理解を得られる分かりやすい説明に一層取組まれることを求めます。

\*\*\*\*\*

【その他、考えられる要素】 ○2病院の協力体制                      ○医療人材の確保・育成  
○政策医療の充実・強化                      ○公共性と経済性の両立                      等

## 3 評価結果

### (1)評価基準

経営計画に基づき、平成21年度に取組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり概ね順調である。	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
○	ほぼ順調である。	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
△	やや遅れている。	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
×	かなり遅れている。	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

## (2)各病院の評価結果

### ①-1 県立広島病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成21年度は12項目に取組んでいます。

そのうち、『◎(計画どおり概ね順調である。)]』と評価した項目は●項目、『○(ほぼ順調である。)]』と評価した項目は●項目で、広島県下のリーディング・ホスピタルとして、また、地域医療の最後の砦として、地域社会に貢献しています。

全体としては計画実現に向けて順調に進行しており、また、目標指標10項目のうち8項目を達成し、結果として、19年ぶりの経常収支黒字を果たすなど、健全経営を達成していると言え、高く評価できるため、全体としての総合評価は、『○(ほぼ順調である。)]』としました。

この中で、3-8“経営の効率化(費用合理化対策)”については、県立2病院共同による契約の統一化等による更なる費用縮減余地があるものと考えられ、自己評価『◎』よりも評価を下げ、『○』としました。その他の●項目については、県立広島病院が行った自己評価と同一評価としました。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

### ①-2 評価結果の内訳

#### ア 評価ごとの項目数

評価区分	H21
評価結果『◎』とした項目	5項目
評価結果『○』とした項目	7項目
評価結果『△』とした項目	0項目
評価結果『×』とした項目	0項目
合計	12項目

#### イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己評価	委員評価
1 政策医療機能			
1	救急機能の強化	◎	◎
2	周産期医療提供体制の強化	◎	◎
3	がん診療機能の強化	○	○
2 医療人材の育成・派遣機能			
4	人材の確保・教育・派遣	○	○
5	医療の安全と質の向上	○	○
3 患者サービスの向上と経営の効率化			
6	患者サービスの向上	◎	◎
7	経営の効率化	増収対策	◎
8		費用合理化対策	◎
9		経営機能の強化	○
4 追加項目			
10	その他の取組	○	○
11	(2病院)協力状況	○	○
5 決算、目標指標			
12	収支改善、目標指標	◎	◎
総合評価			○

## ②-1 県立安芸津病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成21年度は10項目に取組んでいます。

そのうち、『◎(計画どおり概ね順調である。)]』と評価した項目は●項目、『○(ほぼ順調である。)]』と評価した項目は●項目、『△(やや遅れている。)]』と評価した項目は●項目で、訪問看護の実施・輪番制病院としての二次救急医療の確保・患者－医療者のパートナーシップの醸成などの取組は評価できますが、その他については取組の成果及び課題に対する分析を行い、更なる努力が望まれます。

総合的には計画に対する一定の取組が進められていると評価でき、総合評価は、『○(ほぼ順調である。)]』としました。

この中で、2-4“医療の安全と質の向上”については、紹介等を通じた地域連携への更なる推進が必要と考えられ、自己評価『○』よりも評価を下げ、『△』としました。その他の●項目については、県立安芸津病院が行った自己評価と同一評価としました。

今後は、急性期医療と亜急性期医療のいずれに力をいれるのかについて明確な方向性を出すとともに、県立病院としての積極的な指導性発揮が期待されます。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

## ②-2 評価結果の内訳

### ア 評価ごとの項目数

評価区分	H21
評価結果『◎』とした項目	1項目
評価結果『○』とした項目	6項目
評価結果『△』とした項目	3項目
評価結果『×』とした項目	0項目
合計	10項目

## イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己評価	委員評価
<b>1 政策医療機能</b>			
1	安芸津病院の機能検討	○	○
2	政策医療の実施	○	○
<b>2 医療人材の育成・派遣機能</b>			
3	人材の確保・教育・派遣	△	△
4	医療の安全と質の向上	○	△
<b>3 患者サービスの向上と経営の効率化</b>			
5	患者サービスの向上	◎	◎
6	経営の効率化	増収対策	○
7		費用合理化対策	○
8		経営機能の強化	○
<b>4 追加項目</b>			
9	(2病院) 協力状況	○	○
<b>5 決算、目標指標</b>			
10	収支改善、目標指標	△	△
総合評価			○

## 広島県病院経営外部評価委員会 委員一覧

（敬称略）

区 分	氏 名	備 考（職名等）
委員長	谷田 一久（※）	（株）ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
副委員長	河野 修興（※）	広島大学教授
委 員	塩谷 泰一	徳島県病院事業管理者
委 員	檜谷 義美	（社）広島県医師会副会長
委 員	平谷 優子	（財）広島県女性会議理事（弁護士）
委 員	和田 頼知	有限責任監査法人トーマツ パートナー（公認会計士）

  

区分	氏 名	備 考（職名等）
オブザーバー	大濱 紘三（※）	広島県病院事業管理者

※ 経営計画策定時の委員

## 広島県病院経営外部評価委員会 平成22年度議事一覧

- 第1回〔平成22年7月4日（月） 於：県立広島病院〕
  - （1）外部評価委員会の進め方について
  - （2）経営計画の評価方法について
  - （3）病院運営や経営計画の取組状況に関する意見・提言について
  
- 第2回〔平成22年10月5日（月） 於：県立安芸津病院〕
  - （1）評価方法の変更について
  - （2）取組状況と自己評価について
  - （3）県立病院が担う役割と一般会計繰入金について
  - （4）経営に係る分析結果について
  - （5）病院運営や経営計画の取組状況に関する意見・提言について
  
- 第3回〔平成23年 3月15日（火） 於：広島県庁〕
  - （1）経営計画の取組状況に係る評価取りまとめについて
  - （2）経営計画の中間見直しに係る意見・提言について
  - （3）課題・必要な取組の提言等について